※元※気※で※修※了※式※

高令者大学八十五名余

去る三月二十五日、横越村高令者大学の修了式を行いました。

来賓に、村長、議長をおよびにし、祝辞をいただきました。

その中で議長は、「去る二月皆様と私達村会議員の懇談会を開催したところでありますが、活発な発言のもとに進展し、私共議員にも多くの教えられるものがあり、感謝いたすものであります。あの際要望されたことがらについては除々にではありますが、実現に向って努力いたす所存であります。来年度の第八回の大学にとどまるお方もあり今回の修了式で去る方もあると聞いておりますが、何卒健康に留意されましておしあわせな毎日をお過しありますよう祈念申し上げる次第であります。」

祝辞の後、連合婦人会長から女子の大学生に、交通安全のためにつかう、スカーフが送られました。次に公民館長からあいさつをうけ、つづいて下越教育事務所、佐々木氏が講演をいただきました。その後館長から修了証書が手渡されました。その一人、代表の藤田さんは「ただいま修了証書を手にすることができましたのは、村の好意によるものであります。尊い教育を身につけることができましたのを単位老人クラブに帰って、お話をしていきたいと存じます。そしてこれからも勉強して社会のために努力していきたい」と謝辞をのべられました。

祝賀会には酒をくみかわし互に歌を披露しながら、五十二年度の全日程を終了しました。

横越村連合婦人会

52年度総会開かれる

二月十九日、公民館において、横越村連合婦人会総会（会長、佐久間順）が開催されました。会長のあいさつ、村長、公民館長、農協組合長等の来賓のあいさつがあったのち経過報告があり、……永年役員として活躍された星節さん、（前会長、沢海）外11名の役員の方に感謝状と記念品が送られました。

次に記念講演にうつり、テーマ「家庭内における人間関係」で新潟市の大野ケイ子先生より講演がなされました。その概要をすこしここでご照会してみますと、

○昔はもらい風呂があって、一つの風呂に十人以上の人がはいり自分の番がくるまで枝豆や、いものふかしたものをごちそうになりながら、いろ〳〵の話しができた。そんなところに情報交換の場があったが今はそれら日常の情報交換がすくなくなってきた。

○子供は大人を通じて社会へでる訓練をしている、その場が家庭である。子供と大人の家庭での会話を大切に。

○父母のいがみあいや、夫婦げんかなど家庭不和は子供をひくつにしてしまう。

○子供は親のいうことはあまりきかないが、親のしていることはよく見ているものだ。

次のようにまとめてくれました。

⓪姑に対する嫁の心得

①姑の言葉を善意にとる。

②早く姑家の家風になれる。

③知ったかぶりはやめる。

④心に敬いの一字を持つこと

⑤姑家の祖先を大切にする。

⑥姑家の財産を大切にする。

⑦生家の自慢はよしましょう

⑧嫁は姑の体に気をくばる。

⑨笑顔や愛語は嫁の宝です。

⑩親孝行の手本をしめす。

⓪嫁に対する姑の心得

①家風をおしつけないように

②若い夫婦を信頼しましょう

③若い夫婦だけの時間をやるように。

④嫁の意見を尊重しましょう

⑤家族団欒の時をつくる。

⑥孫の育て方を研究しましょう。

⑦講演会や研修会には嫁を出席させましょう。

⑧嫁には秘密をつくらず、なんでもおしえてやりましょう。

⑨嫁の悪口はやめましょう、

⑩信頼される姑になるようにしましょう。

最後に自分の体験を一つ。ある時、自分の体の具合が悪くなった。その時、私の長男の嫁がサロンパスをはってくれた、そうしたら体中があったかくなった。又、自分が新年会にでかけるとき、同じく嫁が髪を結んでくれた。そんなときなど、どんなお土産をいただいた時より私は嬉しく心のあったかさをかんじました。

アメリカ訪問記

第二の故郷 ユタ

小杉 山崎志摩子（17才）高校生

どうにでもなる会話

昨年七月二十八日から八月二十六日までの一カ月間を私はEIL（国際生活体験協会）の主催で、アメリカで過ごした。

EILで企画をしているこれは、十日間の都市見学より二十日間の家庭滞在の方に重みをおいている。

私がお世話になったオブライト家は、ミサイル設計の科学技師をしているお父さんとユタ州立大学の専属教学講師のお母さんとを軸としたインテリ一家だった。

この家族と初めて対面した時の私の気持ちは、それまでの不安はどこへやら、まるで実の肉親に再会したかのようなそんな気持ちでいっぱい。言葉に対する不安も数十分で解消。日常会話は、困った時には辞書やジェスチャーそしてカン。どうにもならない時など笑いで切り抜け、単語力不足に多少閉口しながらもほとんど中学生程度の英語でやってのけたのだから、私の心臓にはきっと毛がはえているに違いない。

食事の量の少ないのに閉口した

滞在中、二十日間というものはいつも出歩き、日本の伝統的なものに関しての講習会にも依頼されるがまゝに友と出席させてもらった。たまに家にいる時は、お父さんや長男カートと日本の事についてのおしゃべり、お母さんや長女ケーリーとは冗談のかわし合い。次男マシュウと愛犬クーガとはレスリングまがいの遊び。手伝いもよくやった。

二十日間も異国の一般家庭で暮すという事は色々な戸惑いもあった。食事の量が大変少く決して大食家でない私だが閉口してしまった。買物の時など価格表示に税金が含まれていない事を知らず支払い段階になってしどろもどろ。

十六才のくせに車の免許を持ち乗り回している高校生を見てギョ!!。私より二つ歳下のケーリーが学年では一つ上なる事でショック、あとで聞いたる事によるとユタ州では何歳からでも入学可能で義務教育中でも二年間コースと三年間コースと選択自由なのだそうだ。

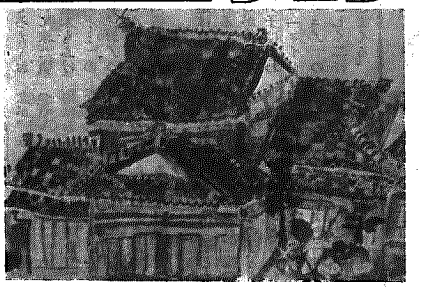
私が日本からの宿題をやろうとしたら「休暇中なのに勉強する事はない。」と言われ嬉しいやら驚くやら……etc。

失敗と驚きの毎日だったが、これもみんなオブライト家の人々がいたからの体験だ。ユタを後にする日、涙と笑顔とキスで見送ってくれた家族達に、「ユタは第二の故郷、いつの日か再び訪れよう」と私は約束した。

あれから数カ月が過ぎた今、私は妹のケーリー達と電話や手紙などで便りし合っている。

オブライト家の両親とヨットの上で

子どもサロン



建物　五年　清野　保

＜評＞

学校の近くの、がっしりした建物に心をひかれて画材とした作品です。

とりわけ、瓦（いらか）の表現に誠実感が溢れた好作品といえましょう。対象に挑んで思いきり追求する姿勢に、並々ならないものを感じさせます。

（この作品は四年の時、書いたものです。）

（担任　渡辺　十）

横中二年　渡辺靖子

＜評＞

全体――やゝ調和に欠けた。氏名の位置に一工夫必要。紙のはじに線がぶつからないよう。

部分――「日」「雪」が大き過ぎる。画数の少ない字はやゝ小さめに書くことが必要。

総評――伸び〳〵と書いている点は良い。たゞ全体のバランスを考えながら書く配慮が今後の課題である。

（この作品は中学一年の時書いたものです）

商工業者の皆様へお知らせ

通称㊝資金制度の一部改正!!

融資対象者……製造業、その他 従業員20人以下。　商業、サービス業 従業員5人以下

融資限度額……250万円

融資期間……運転資金 2年6カ月以内。　設備資金 3年6カ月以内。

融資利率……年6.8％

融資条件……無担保無保証。　（申込みは商工会事務局へ）

昭和53年度 連青役員決まる!

団長　小田弘一（小杉）

副団長　玉木英夫（木津）

〃　皆川正子（藤山）

会計　遠藤雅英（横越下）

また、郡連青副団長に前村連青事務局長の山口直広君、県連青常任理事に前村連青副団長の佐久間久子さんがそれぞれ就任しました。

活発な活動が期待できそうである。

学校体育館 定期利用団体募集

○対象…学校体育館を年間定期的に利用したい団体で責任者がはっきりしていること。

○場所：横越小学校体育館

○申込：四月二十日までに公民館へ。用紙等は公民館にあります。

○期間：昭和五十三年四月から九月末まで（六カ月間）。その後は再登録で利用可能。

第四回 早起野球大会の案内

○申込受付期間
五月八日～五月十九日

○大会期間
六月一日より修了

○申込金
一、○○○円

○申込用紙
公民館に用意してあります。

○申込期間に遅れた場合は出場を認めません。

○問い合せ
横越村公民館へ

○主　催
横越村体育協会
横越村公民館